

いもほりハイキング

6月2日(日) 川越市 荒幡農園

恒例の青少年育成鷺宮地区委員会主催のいもほりハイキングが、行われました。

例年より早く梅雨入りし雨が心配されましたが、天気予報は曇りということで、集合の鷺宮区民活動センターには大勢の親子連れを含む参加者が集まりました。参加者は、現地に先行して準備をするスタッフを含めて142名。そろいの青いバンダナを付け、11のグループに分かれて西武新宿線に乗り込みました。目的地、荒幡農園の最寄駅は南大塚。駅から20数分、ゆっくり進むと道路の左右に畑が広がり始めます。やがて大きな看板が見え、みんなホッとて農園に進む足も早まりました。



農園の中では、先発していた地区委員会のスタッフと児童館の園長さんたちが、ジャガイモをふかして待っていてくれました。早速一人一つずつ味わってみると、ほくほくで甘みのあるおいしいジャガイモでした。農園の荒幡さんから、ジャガイモの生育についてお話をうかがったあと、お待ちかねのいもほり。一人4株ずつ掘ってみます。靴が汚れないように、レジ袋を靴の上に履いたり、大きいくつしたを重ね履きする方の姿もあります。サラ

サラの土なので株は簡単に引き抜けました。一つの株には大小合わせて10個くらいのいもがなっていますが、引き抜いただけでは土の中に残るいもが多いので、みんな一生懸命取り残しのいもを探します。土の中から発見すると子どもたちから「やった~!!」と、歓声がおこります。大人も子どもも土まみれになりながら、たくさんのジャガイモに大満足でした。



おなかもすいたところで、先発隊の作ってくれたカレーライスをいただきます。3釜で15キロのごはんと大鍋2つのカレー。委員長手作りのきゅうりの浅漬けとミニトマト、福神漬け、らっきょう。広い空の下、自然に囲まれて大勢で食べるジャガイモたっぷりのカレーライスは、格別の味わい。おかわりも続出する大人気ぶりでした。農園のお母さんに話を伺うと、「このところ全く雨が降っていないので、野菜に水が足りず困っている」とのこと。東京で降った時も、川越では

一滴も降らなかったそうです。5月の寒かった日には霜が降りて痛んだ葉もあったとか。天候に左右される農業の大変さを教えられました。

カレーライスを食べ終わったあとは自由時間です。雑木林の中で木登りしたり、桑の実を見つけて食べてみたり、鬼ごっこをしたり、のびのび遊びました。

たっぷり食べて遊んだあと農園の皆さんにお礼を言って、鷺宮に向かって出発しました。小さな子どもたちは疲れてバギーの中ですやすやす。大人たちも疲れてやや重い足取り。南大塚駅まで運んでいただいたジャガイモを持って、電車に乗り、無事鷺ノ宮駅で解散となりました。

十分な準備と打合せを重ね、当日は怪我や事故のないように見守っていただき、カレーライスを用意していただいた地区委員会の皆さま、お疲れ様でした。楽しい一日をありがとうございました。

